

2021年12/17(金)・18(土)・19(日)

浅草寺境内 宝蔵門前

浅草寺 歳の市 羽子板市



①④販売員とのやり取りも今年は多く見られた②変わり羽子板。話題になった俳優や活躍したスポーツ選手等が登場。職人の技が光る③風が冷たく暖簾がなびく初日⑤東京藝術大学デザイン科と羽子板職人のコラボレーション。さまざまなキャラクターが登場⑥手形スタンプ羽子板。2020年は中止だったが再開した⑦多くの人で賑わう浅草寺仲見世通り

「浅草寺 歳の市（羽子板市）」が12月17日（金）から三日間、浅草寺の境内において開催された。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で出店を控えた店舗も2021年は復活。小屋に所狭しと並べられた色とりどりの羽子板は、客の目を引き、足を止めた。羽子板を見て歩き回る人の数も2020年に比べてはるかに増えた。さすがに例年通りとはいかないが、幅広い年齢層の客が真剣に羽子板を選ぶ様子が見てとれた。「圧倒的に人出が多い。例年であれば日本人に加え、外国人観光客も見物しているが、それはまだまだ。今年は開催日が金土日と良い並び。期待したい」と関係者。初日はあいにくの雨模様でのスタートだったが、昼前には雲の隙間から青空が見え、寒空の元に客が集った。土日は朝から青天に恵まれ、日本人観光客で賑わった浅草寺。「少しだけ、お祭りらしさが戻ってきたかな」。

